

西北地区高校生「みらいを創る」探究活動合同発表会

対象:2学年生徒

令和 7年 1月 22 日(水)12:00～15:40

1月22日(水)、五所川原市ふるさと交流圏民センターオルテンシアにおいて、西北地区高校生「みらいを創る」探究活動合同発表会が開催されました。西北地区の県立・私立高等学校7校から1～2グループが代表として探究活動の成果を発表しました。

本校の代表生徒は、「五所川原市に姉妹都市を作りたい!」「教員増加～若く新しい考えの教員を増やして～」というテーマで発表をしました。他校も、公共交通機関の利用促進や地域特産品を使った商品開発、耕作放棄されたリンゴ園に漆を植えて国産漆の自給率向上を目指すなど、様々な地域課題の解決に向けて探究活動に取り組んでいました。どの探究においても、生徒たちは仮説を立て、フィールドワークなどの調査を行い、具体的な解決策を提案していました。発表会は、生徒たちにとって、探究活動の成果を発表する場であると同時に、他の学校の生徒と交流し、刺激を受ける貴重な機会となりました。

助言者の方々からは、「探究は問いから始まり、調査と考察を経て理解を深める。その過程で新たな疑問が生まれ、さらなる探究へとつながる。今回はまさに問いと発見のサイクルを繰り返しながら知識や理解を深めていくプロセスを見せてもらった」と感想をいただきました。会場内から生まれた沢山の質問と、それに対する発表者の回答の活発なやり取りに、「発表者がプレゼンに対する質問へどのように回答するかを話し合っている場面こそ、一番の学びである。皆さんの今後の探究に期待したい。」との評価をいただき、各校の生徒たちの中には、早くも次の探究に向けて話し合いを始めているグループも見られました。

